

『1999年1月から2012年12月までに脳内出血を発症し、
内視鏡下血腫除去術を受けた患者さんへのお知らせ』
＜脳内出血に対する内視鏡下血腫吸引除去術の有用性についての検討
に関する疫学研究について＞

当教室では、1999年1月から2012年12月までに脳内出血を発症し、外科的治療を行った患者さんの手術成績および予後を検討するための後方視的調査研究を実施し、公表予定です。

脳内出血に対する外科的治療は、開頭術または定位手術（穿頭術）が主に行われてきました。当教室において、2006年1月から脳内出血に対し内視鏡下手術を積極的に導入しています。2006年以前に行っていた開頭術および定位手術と比べ、内視鏡下手術の有効性を明らかにすることを目的としております。

当教室の調査実施期間は倫理委員会承認日から2013年12月の予定です。

- ・ 治療介入を伴わない「疫学研究」で、既存試料のみを用いた研究です。個人が直接同定されうる情報の掲載はしておりません。
- ・ 試験への不参加や、参加取りやめを希望される方は、下記までご一報下さいますようお願いいたします。
- ・ 学内研究費のみを使用する研究のため、利益相反は起こりません。

問い合わせ先：脳神経外科学 1 横須賀公彦
電子メール：hiko@med.kawasaki-m.ac.jp
TEL：086-462-1111 FAX：086-462-7897